

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 2 日 (2016.6.2)

【公開番号】特開 2014-214127 (P2014-214127A)

【公開日】平成 26 年 11 月 17 日 (2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報 2014-063

【出願番号】特願 2013-93340 (P2013-93340)

【国際特許分類】

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 15/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 11 日 (2016.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

含窒素複素芳香族化合物と、トリス（ - ジケトナート）イリジウムとをオルトメタル化させてオルトメタル化イリジウム化合物を合成した後、未反応の前記含窒素複素芳香族化合物を回収し、トリス（ - ジケトナート）イリジウムを追加してオルトメタル化させる 燐光性有機金属イリジウム錯体の合成方法であって、

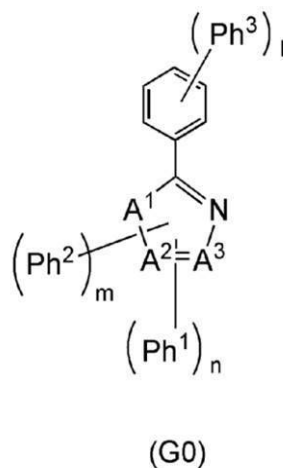
前記含窒素複素芳香族化合物は、前記オルトメタル化の反応温度よりも融点が低く、250 における示差熱 - 熱重量同時測定の結果、重量減少率が 5 % 以内であり、分子量が 300 以上 700 以下であることを特徴とする 燐光性有機金属イリジウム錯体の合成方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記含窒素複素芳香族化合物は、下記一般式（G0）で表されることを特徴とする 燐光性有機金属イリジウム錯体の合成方法。

【化 1】



（但し、一般式（G0）中、Ph¹ ~ Ph³ は、それぞれ独立に置換もしくは無置換のフ

エニル基を表し、 $A^1 \sim A^3$ は、それぞれ独立に炭素または窒素を表す。なお、 $A^1 \sim A^3$ の全てが炭素、または全てが窒素の場合を除く。また、 l 、 m 、 n は、それぞれ独立に 0 または 1 であり、その和は、2 または 3 である。)